

# ビジョンのふんわり シニアLIFE

いつも元気なビジョンは、ほかの犬種と比べて老化がわかりにくいことも。  
シニア期のサインや毎日のお手入れなどをチェックしておきましょう。

監修\* 岩崎雅和 先生 (獣医師/岩崎動物病院院長) photos\* 北川 泉ほか



ビジョン・フリーゼは比較的丈夫な犬種で、20歳近くまで生きることが珍しくありません。しかし寿命が長いと、**白内障**や**循環器系疾患**、**代謝系疾患**など、老化が原因となる病気を経験する可能性も高いのです。被毛がもともと白く、見た目には老化がわかりにくい犬種なので、愛犬の行動の変化を見逃さないように観察してください。

とくに**膝蓋骨脱臼**の疑いがあるときには、早めの対処が必要。若いころは体力と気力でカバーできることもありますが、シニアになると症状が現れてしまいます。早期に見つけて治療するためにも、年に1回は健康診断を受診すると安心です。

脳の活性化には、新しいことを覚えるのが効果的。おやつとニオイと行動を結びつけるトレーニングは、目や耳が悪くなったときにも役立ちます。また、ベッドの端にアロマオイルを少量付けたりして、若いころから嗅覚で誘導する訓練をするのもおすすめです。トレーニングを嫌がるときには、スキンシップをしながら慣れさせるなどの工夫をしましょう。

## シニアケア Q&A

### Q シニアになったときの対処法は?

#### A 食事や行動の変化をフォローしましょう

- 肥満予防のために、食事をスケールで計量する
- 爪切りや簡単な被毛のカットなどを飼い主ができるようにする
- ソファなどの段差にステップを付ける
- ニオイと行動を結びつけるトレーニングを行う
- 新しいコマンドを教えて、脳を活性化する

### Q 若いときにやっておいたほうが いいことは?

#### A 次のような対策が重要です

- 獣医師やトリマーなど、専門家から正しい知識やケアを学ぶ
- 被毛のお手入れ
- 投薬や目薬をさす練習
- 口の中やおなかをさわる、足を軽く引く張るなど、スキンシップを通してさわられることに慣らす



### Q ビジョンの老化の サインを教えてください!

#### A 次の行動が見られることがあります

- 視力が低下して、家具などにぶつかりやすくなる
- 耳が遠くなり、名前を呼んでも反応しなくなる
- 段差を乗り越えられなくなったり、足を引きずったりするようになる
- 咳やいびきが目立つようになる
- ベッドやソファの下に隠れて寝るようになる
- 鼻が白く退色してくる
- 被毛のコシがなくなる
- 被毛の量が少なくなる